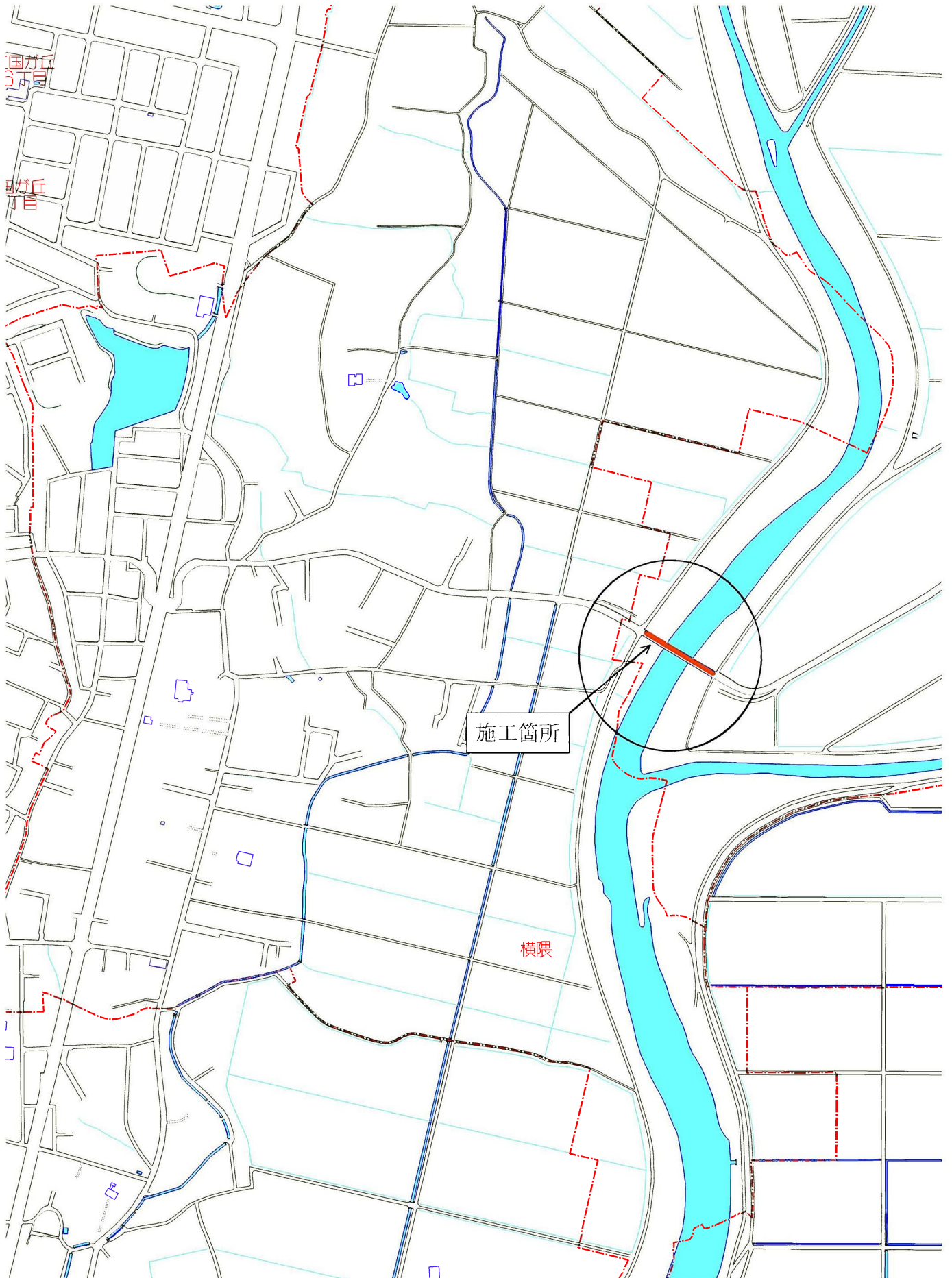
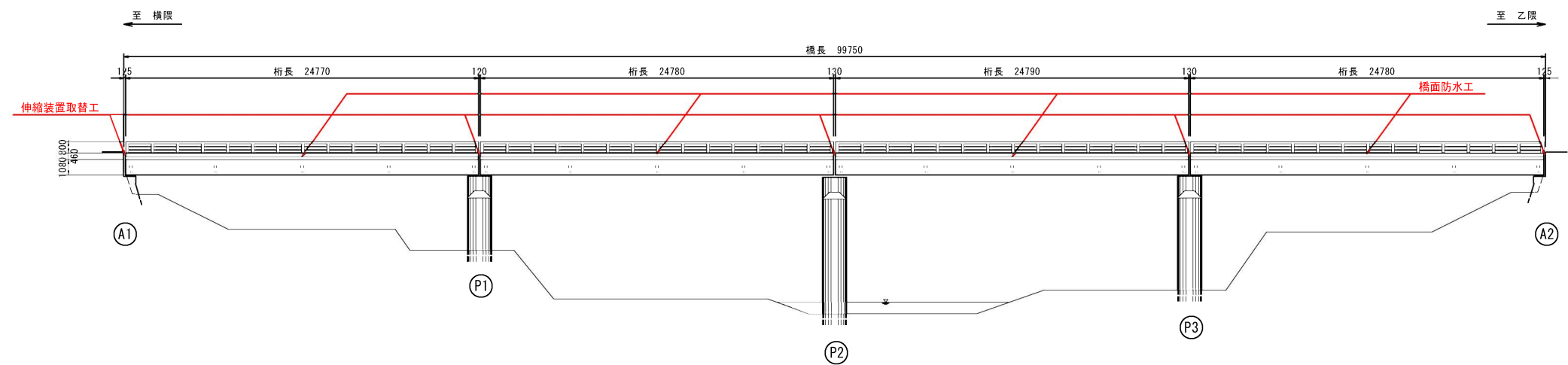


位置図

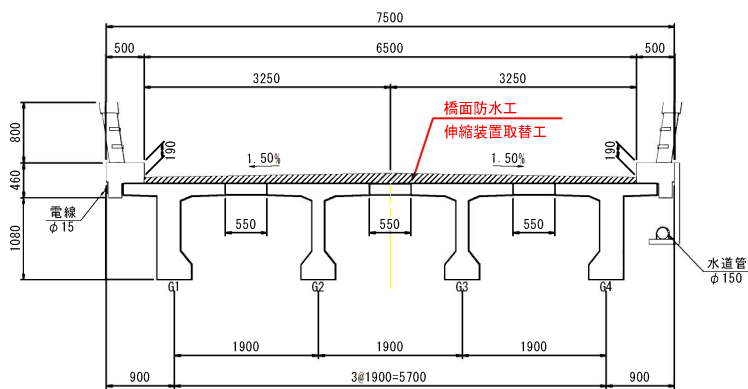


補修計画一般図

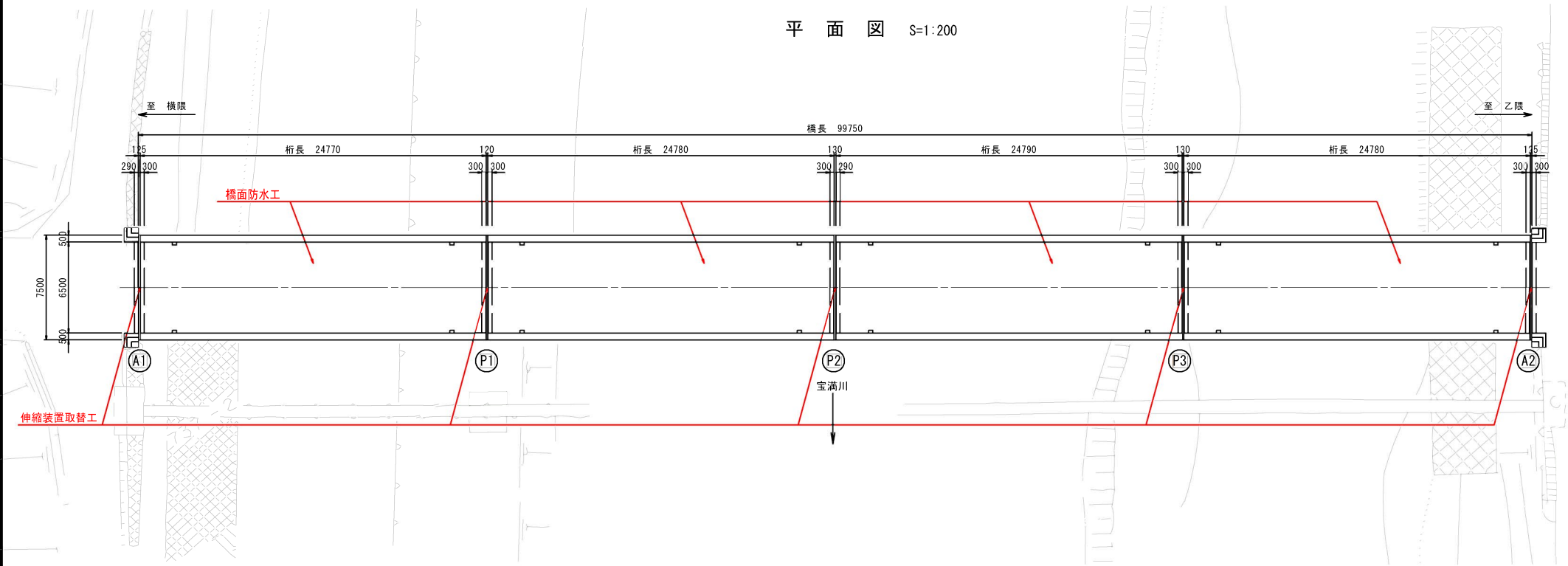
側 面 図 S=1:200



上部工断面図 S=1:50



平 面 図 S=1:200



橋 梁 諸 元

橋梁名	宝満橋
橋長	L= 99.750m
全幅員	W= 7.500m
有効幅員	W= 6.500m
竣工年	1973年(昭和48年)
設計活荷重	不明
上部工形式	PCボステンT桁橋
下部工形式	半重力式橋台、T型橋脚
基礎工形式	場所打ち杭
適用示方書	不明

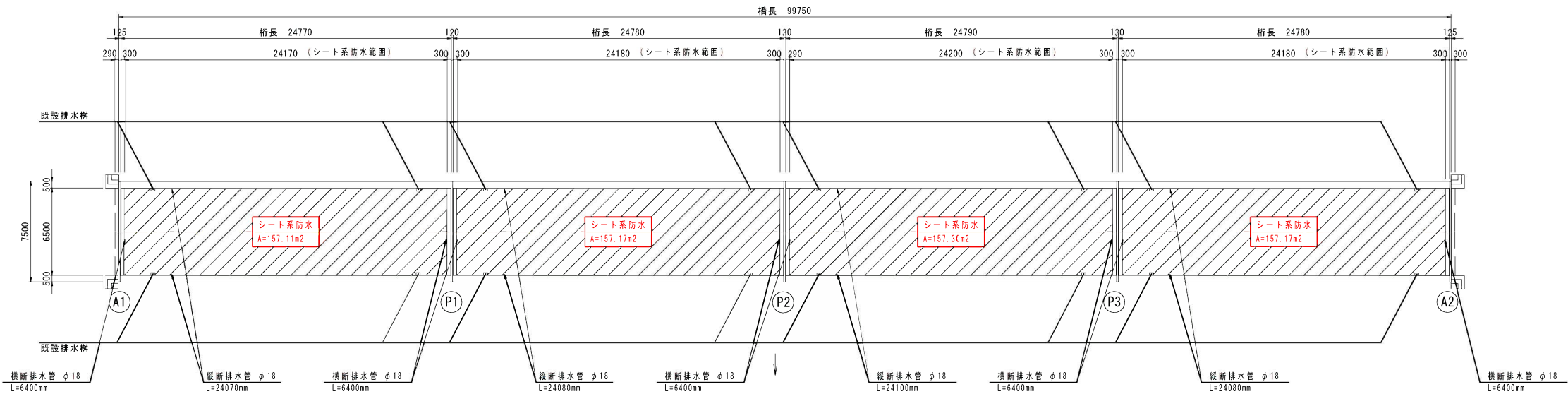
補修項目一覧表

番号	補修項目	仕様	備考
①	橋面防水工	シート系防水	
②	伸縮装置取替工	伸縮量20mm、遊間130mm	

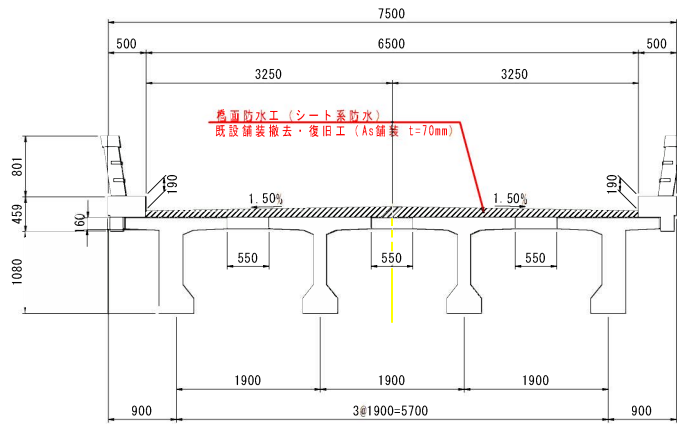
工事年度	令和2年度		
工 事 名	宝満橋補修工事(その2)		
工事箇所	小都市 乙隈 地内		
路 線 名	三沢・乙隈5号線		
図 面 名	補修計画一般図		
縮 尺	図示	図面番号	1 / 3
小都市役所			

橋面防水工図

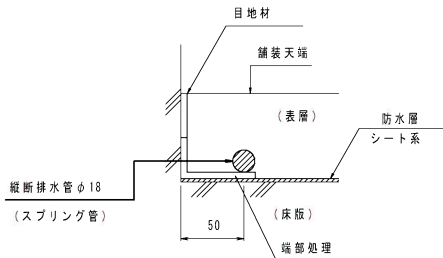
平 面 図 S=1:200



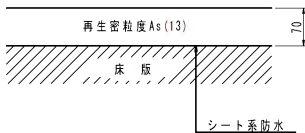
上部工断面図 S=1:50



縦断排水・端部処理詳細図 S=1:3



舗装構成図 S=1:5



※現地調査では既設舗装厚が不明であるため、既設舗装厚を70mmと想定している。
※工事にあたっては、事前に舗装厚を確認すること。

材 料 表

名 称	規 格	単 位	数 量					備 考
			A1-P1径間	P1-P2径間	P2-P3径間	P3-A2径間	合 計	
防 水 層	シート系	m2	157.11	157.17	157.30	157.17	628.8	
縦断排水管	φ18(スプリング管)	m	48.14	48.16	48.20	48.16	192.7	
横断排水管	φ18(スプリング管)	m	12.80	12.80	12.80	12.80	51.2	
目地材		m	61.34	61.36	61.40	61.36	245.5	
端部処理	シート系	m	61.34	61.36	61.40	61.36	245.5	
舗装撤去工	As舗装	m2	157.11	157.17	157.30	157.17	628.8	t=70mm
舗装復旧工	再生密粒度As(13)	m2	157.11	157.17	157.30	157.17	628.8	t=70mm
区画線工	実線(黄)	m	24.77	24.78	24.79	24.78	99.12	w=15cm
	実線(白)	m	49.54	49.56	49.58	49.56	198.24	w=15cm

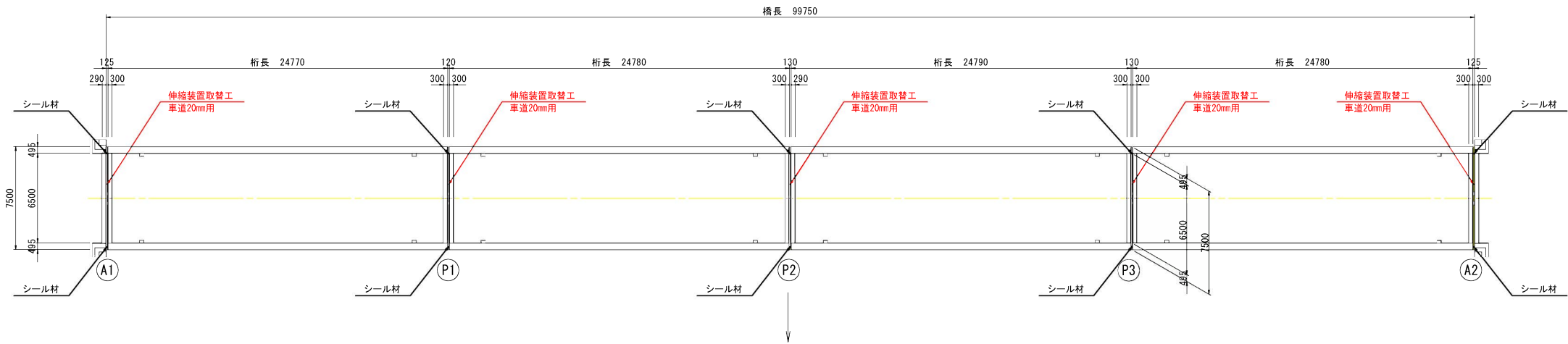
注記)

- ※橋面防水工は、シート系防水とし、橋面からの雨水の浸透を抑制することで、上部工コンクリートの耐久性を向上させることを目的として実施する。
- ※橋面防水工の施工範囲は、伸縮装置の製品タイプに応じて変化することが想定されるため、伸縮装置取替工を先行して実施すること。
- ※舗装撤去後、床版コンクリートの不健全部分が確認された場合は、橋面防水工を敷設する前に補修を行うこと。
- ※縦断排水管は、既設配水管へも接続すること。
- ※舗装厚は、現地高に合わせて調整すること。
- ※施工に当たっては、現地再測のこと。

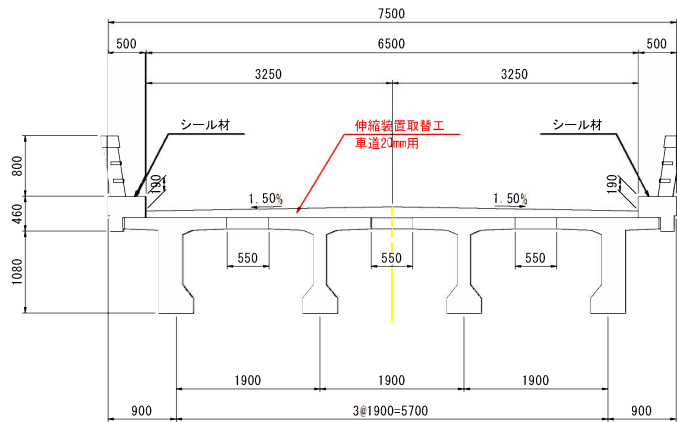
工事年度	令和2年度		
工 事 名	宝満橋補修工事（その2）		
工事箇所	小都市 乙 隈 地内		
路 線 名	三沢・乙隈5号線		
図 面 名	橋面防水工図		
縮 尺	図示	図面番号	2 / 3
	小都市役所		

伸縮装置取替参考図

平 面 図 S=1:200



上部工断面図 S=1:50



選定条件

	単位	遊間量	伸縮量	適用
A1	mm	125	19.9	20mm用
P1	mm	120	19.9	20mm用
P2	mm	130	19.9	20mm用
P3	mm	130	19.9	20mm用
A2	mm	125	19.9	20mm用

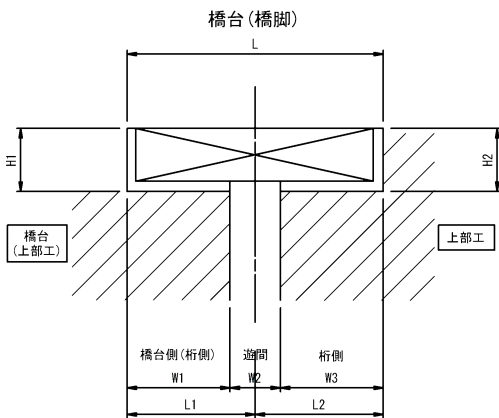
※伸縮量は常時を示し、余裕量(10mm)を含む。
※本橋は支承条件が不明であるため、安全側を考慮し、単純桁のいずれかが可動支承と仮定した場合の伸縮量を満足させる伸縮装置を選定する。
※桁端の切欠き寸法は伸縮装置のタイプにより異なるため、製品に応じて調整すること。

伸縮継手材料表

	単位	A1	P1	P2	P3	A2	合計
伸縮装置(車道20mm用)	m	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	32.50
シール材・バックアップ材 地覆部	m	1.38	1.38	1.38	1.38	1.38	6.90

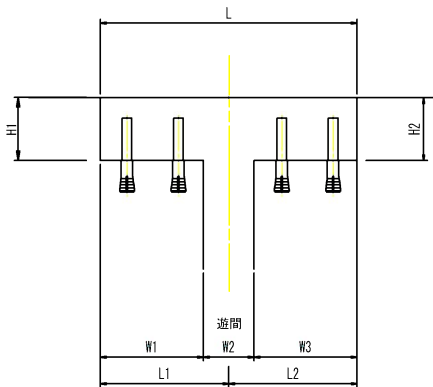
※施工に当たっては現地再測のこと。
※地覆防水の施工にあたっては現地の状況を確認の上、施工の要否を検討すること。

伸縮装置切欠き形状図



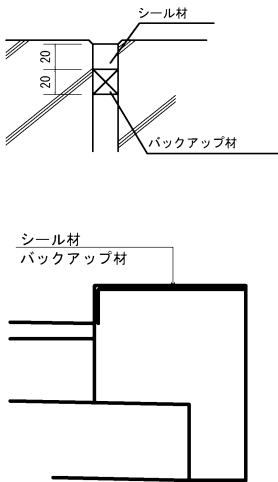
※H1、H2及びW1、W3は取付ける伸縮装置のタイプで決まる切り欠き高さ及び切り欠き幅を示す。
※W2については既設遊間を計測し、最終決定すること。
※Lは取付ける伸縮装置の全幅を示す。
※車道部は原則、荷重支持型で非排水型とする。

アンカー鉄筋配置図



※アンカー鉄筋の配置は、伸縮装置のタイプによって異なるので、製品に応じて調整すること。

地覆部断面参考図 S=1:3



注記)

※本補修は劣化した伸縮部の健全化、および伸縮装置の非排水化における、桁下の漏水対策を目的とする。
※伸縮装置は非排水型を選定すること。
※伸縮装置取替後、橋座面の清掃を行い、はつり等々は残置しないこと。
※打替コンクリートは超速硬コンクリートとする。
※桁端の切欠き寸法は、伸縮装置のタイプによって異なるため、製品に応じて調整すること。
※現地再測の上、製作、施工を行うこと。
※既設床版の健全性を確認し、必要があれば補修等を施すこと。

工事年度	令和2年度		
工 事 名	宝満橋補修工事(その2)		
工事箇所	小都市 乙 隈 地内		
路 線 名	三沢・乙隈5号線		
図 面 名	伸縮装置取替参考図		
縮 尺	図示	図面番号	3 / 3
小都市役所			